

2009年6月18日

株式会社アルバック

新型インフルエンザ社内感染終息に伴う社内体制の正常化について

6月3日および4日、当社社員に新型インフルエンザ感染が確認されたことにより、感染者の入院措置を実施、感染者と濃厚接触した可能性が高い社員を社有設備等に待機させて参りました。

その後、感染者につきましては入院先病院の治療により完治し退院、待機者につきましては保健所と当社による経過観察の結果、異常が認められなかったことから10日間の待機期間を経て対象者全員の待機を解除し、感染者、待機者各々が業務に復帰いたしました。

これにより、当社は感染が確認される以前と同様の状態に復旧し正常な体制による業務を行うことが可能となりました。

今回の感染に伴う種々の状況に関して、お客様をはじめとした関係者の皆様にご心配ご迷惑をお掛けしましたことを心よりお詫び申し上げますと共に、ご協力いただきました関係者の皆様にあらためて厚く御礼申し上げます。

今後につきましては、社内における新たな感染のなきよう予防対策に万全を期すると共に更なる社業の発展に全社を挙げて取り組んで参りますので、関係者皆様の一層のご高配を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

以上